

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立伊奈学園中学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	これまでの基本方針を踏まえた上で、「生きる力」を「自ら学び、心豊かに逞しく生き抜く」と具体的に示すなど、今年度見直しが図られている。生徒の実態や学校の現状に応じた適切な学校像であり、生徒・保護者などの期待に応えるものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	現時点での課題を踏まえて中期的な視点から重点目標が整理されている。目指す学校像の実現に向けて重点化された適切なものとなっており、生徒の実態など学校の状況を踏まえた目標である。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	分掌・学年等が連携しながら目標達成を目指す体制が整えられている。小規模な学校の中で、学校自己評価システムが学校評価委員会を中心に運営されており、学校関係者の意見などがうまく活用されている。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校評価委員会・分掌・学年で方策を策定し、課題解決のために取り組んでいる。成果指標などを取り入れ、評価指標が方策の達成状況を評価するためのものとして適切であり、方策が計画的に実施されている。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は現状や課題を踏まえ、組織力を高め、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組もうとしている。校長のリーダーシップが的確に発揮され、学校評価委員会が適切に機能しており、教職員全体で取組を展開している。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	学校関係者の意見やアンケート結果を教職員に示し、達成状況や課題の共通理解を図っている。学校関係者の意見やアンケートの項目を整理するとともに、結果を多角的に分析して有効に活用し、達成状況や課題を把握して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			